



Infor LN 販売 販売見積ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	salesquotug (U9841)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
販売見積.....	7
販売見積マスタデータ.....	7
販売見積手順.....	7
販売見積のオプション処理.....	8
第2章 手順.....	9
第3章 オプション処理.....	11
販売見積のオプション処理.....	11
販売における製品バリエーション.....	12
製品バリエーションのリンク.....	12
製品バリエーションのリンクの解除.....	17
付録A 用語集.....	19
索引	

文書情報

この文書では、販売見積の概要を紹介し、販売見積の手続きと機能について説明します。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	見積依頼の概要と、そのマスターデータ、手順、およびその他の処理の参照先
第 2 章	手順	販売見積手順のステップ
第 3 章	オプション処理	販売見積手順のその他の機能

参照

このガイドは、販売見積の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 販売マスターデータユーザガイド U9839 JA
販売マスターデータの設定を理解するために使用します。
- 製品カタログユーザガイド U9815 JA
製品カタログの設定および使用を理解するために使用します。
- マージン管理ユーザガイド U9842 JA
マージン管理手順を理解するために使用します。
- 販売オーダーユーザガイド U9845 JA
販売オーダー手順を理解するために使用します。
- プロジェクトペギングユーザガイド U9777 JA
プロジェクトペギング機能を理解するために使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するために使用します。
- 資材価格設定ユーザガイド U9865 JA
資材価格設定機能を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックを集めてまとめたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

販売見積

販売見積は、購買決定を行う上で必要な詳細を販売先取引先に提供するために使用されます。

販売見積は、取引先からの見積依頼 (RFQ) への回答として、または見込取引先との販売処理を開始するための販売ツールとして作成できます。見積には、日付、条件、販売する品目または品目の説明、および見積が承認される確実性レベルを反映した成功率が含まれます。販売見積は、それらの成功率に基づいて計画モジュールに含まれます。成功率が高い見積は、販売済と見なされます。

見積を出力して取引先に送付できます。回答された見積の結果を販売に指定できます。見積が承認されない場合、不成立の理由と見積を獲得した競合先を指定できます。取引先が見積を受け入れた場合、見積を販売オーダーに転送し、成功の理由を指定できます。

注意

品目コードが空白の販売見積ラインは販売オーダーに変換できません。

販売見積マスターデータ

販売見積手順を使用するには、事前に次のパラメータおよびマスターデータを指定する必要があります。

1. 販売パラメータ (tdsls0100s000) セッションの [見積] チェックボックスをオンにします。
2. 販売見積パラメータ (tdsls0100s100) セッションで販売見積パラメータを指定します。
3. 競合先 (tdsls1106m000) セッションを使用して、競合先を定義し、販売見積手順全体を通じて追跡できます。見積ラインが成立しない場合、オーダーを獲得した競合先を示すことができます。
4. 見積の成功率を上げるには、見積の承認または却下の理由を記録することが重要です。理由 (tcms0105m000) セッションで指定された成立または不成立の理由により、見積の長所と短所について理解できます。見積ラインごとに、成立または不成立の理由を示すことができます。

販売見積手順

販売見積手順には、作成、出力、見積依頼結果の指定、処理、および販売見積の提出が含まれます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売見積手順

販売見積のオプション処理

多くの処理は、販売見積手順で必ず発生するわけではありませんが、特定の状況で適用することができます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売見積のオプション処理

販売見積を作成して処理するには:

ステップ 1: 販売見積 (tdsls1600m000)

販売見積 (tdsls1600m000) セッションで、販売見積ヘッダおよびラインを指定します。このセッションにより、販売見積に対する最も重要な情報の指定と、見積の処理が可能です。

ステップ 2: 販売見積の承認 (tdsls1211m000)

販売見積パラメータ (tdsls0100s100) セッションで [承認必須] チェックボックスがオンの場合、販売見積手順では販売見積の承認が必須です。

ステップ 3: 販売見積の出力 (tdsls1401m000)

販売見積の出力 (tdsls1401m000) セッションで販売見積を出力し、確認のために取引先に送付できます。この文書には、必要な商品を納入するときの価格および条件が含まれています。ファイリング用の追加のコピーを出力できます。

販売見積パラメータ (tdsls0100s100) セッションの [承認必須] チェックボックスがオンの場合、販売見積を公式に出力するには、事前に販売見積が承認されている必要があります。公式に出力すると状況は [出力済] に設定されます。

ステップ 4: 販売見積結果 (tdsls1101s100)

販売見積結果 (tdsls1101s100) セッションで、見積に対する取引先の回答を指定します。取引先は提出された見積ラインを承認または拒否できます。合格または不合格の理由と、見積ラインを取得できなかった競合先または取得した競合先もこのセッションで記録することができます。この情報は将来の見積で重要になります。

販売見積の一括更新 (tdsls1205s000) セッションを使用すると、見積全体、または見積のグループの結果を指定できます。

ステップ 5: 販売見積の処理 (tdsls1200m000)

取引先が見積を受入れた場合、販売見積の処理 (tdsls1200m000) セッションで、提出済の見積ラインから販売オーダを生成できます。

ステップ 6: 販売オーダー (tdsls4100m000)

販売オーダー (tdsls4100m000) セッションで、見積から作成された販売オーダーをメンテナンスします。

注意: 前のステップは、販売見積 (tdsls8310m000) セッションを使用して実行することもできます。

販売見積のオプション処理

多くの処理は、販売見積手順で必ず発生するわけではありませんが、オプションで使用できます。
次の処理があります。

- 資材価格の取得
資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格設定マスターデータの設定後に資材価格情報を取得し、販売見積ラインの資材価格を計算できます。
- 製品バリエーションの構成
見積ラインから一般品目の製品バリエーションを構成できます。
- 有効在庫と確約可能在庫のチェック
見積について有効在庫 (ATP) および確約可能在庫 (CTP) をチェックできます。このチェックが自動的に実行されるのは、計画パラメータ (cprpd0100m000) セッションの [販売の確約可能在庫チェック] のチェックボックスがオンであり、販売見積パラメータ (tdsls0100s100) セッションの [見積ライン入力時の在庫チェック]、[確認時在庫チェック]、または [処理中の在庫チェック] のパラメータが [Yes] または [タイムフェーズ] である場合です。フリーの利用可能在庫 (ATP) と他の重要なコンポーネントおよび能力 (CTP) が、見積ラインを処理するには不十分な場合、たとえば納入スケジュールを使用して不足を処理できます。納入スケジュールは、有効在庫処理 (cprrp4800m000) セッションで設定できます。納入スケジュールを使用する場合、スケジュールラインをマニュアルで更新する必要があります。
有効在庫処理 (cprrp4800m000) セッションは、次のように開始できます。
 - ATP/CTP チェックを実行する場合はマニュアルで開始
 - そのオーダータイプの在庫不足の自動処理オプションが定義されている場合は自動的に開始
 - 見積ラインの入力、確認、または処理中に表示される在庫不足メニュー (tdsls4830s000) からマニュアルで開始
- 代替の提示
特定の見積について、販売先取引先に複数の選択肢を提示できます。販売見積ライン (tdsls1501m000) セッションの適切なメニューの [代替の作成] をクリックした場合、代替ラインを作成できます。このラインの位置番号は第 1 見積ラインと同じですが、連番は 1 だけ大きくなります。
- カタログからの販売見積の作成
カタログに基づいて新規販売見積を作成できます。

- 部品表構成要素の販売見積へのコピー
部品表構成要素の販売見積へのコピー (tdsls1812s000) セッションを使用して、部品表構成要素を販売見積にコピーできます。見積にコピーする製造品目および部品表レベルの番号を入力する必要があります。構成要素の他のレベルを持たない部品表の各位置のために販売見積ラインが追加されます。
- 見積ラインのプロジェクト原価のペギング
販売見積ラインの品目についてプロジェクトペギングが必須の場合、販売見積ライン (tdsls1501m000) セッションでペグを指定する必要があります。
- 販売見積の出力および確認
販売見積のプレビュー (tdsls1401m200)、販売見積の出力 (tdsls1419m000)、および販売見積ラインの出力 (tdsls1420m000) の各セッションで、販売見積の出力および確認ができます。
- 販売見積の削除
販売見積の削除 (tdsls1210m000) セッションで、(処理済) 販売見積を削除できます。

販売における製品バリエーション

販売で、構成可能品目の製品バリエーションを生成できます。構成可能品目とは、品目 (tcibd0501m000) セッションの [構成可能] チェックボックスがオンになっている品目のことです。

品目 (tcibd0501m000) セッションで [デフォルト供給ソース] が [組立] 品目および [一般] 品目に設定されている [製造] 品目は常に構成可能です。

注意

品目 (tcibd0501m000) セッションでデフォルト供給ソースが [組立] に設定されている品目には、次の内容が適用されます。

- 組立計画パラメータ (tiapl0500m000) セッションの [同一構成の多重販売] チェックボックスがオフの場合、販売オーダーラインでオーダー数量が 1 に制限されます。組立計画パラメータ (tiapl0500m000) セッションの [同一構成の多重販売] チェックボックスがオンの場合のみ、オーダー数量が 1 より大きい品目を入力でき、同じ組立製品バリエーションを複数販売できます。その結果、複数の組立オーダーが 1 つの販売オーダーラインにリンクされます。製品バリエーションを識別するには、各種組立オーダーおよび販売オーダーラインが同じ仕様を持つ必要があります。これらの品目は組立品目とも呼ばれます。詳細は、次の情報を参照してください: 組立の製品バリエーションを多重販売するにはおよび組立品目
- 組立計画パラメータ (tiapl0500m000) セッションの [コンフィギュレータ] チェックボックスによって、品目を製品構成で構成する必要があるか、製品バリエーション - 在庫 (組立) (tiapl3600m000) セッションで自動的に品目の製品バリエーションが生成されるかが決まります。

製品バリエーションのリンク

品目が構成可能品目の場合は、販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションおよび販売見積ライン (tdsls1501m000) セッションのライン入力時に品目を即時に構成することを選択できます。販売オーダーラインを保存した後で製品バリエーションを構成するには、適切なメニューで [コンフィギュレータ] をクリックして、製品コンフィギュレータ (tipcf5120m000) セッションから製品バリエーションを構成します。

販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションおよび販売見積ライン (tdsls1501m000) セッションの [製品バリエーション] フィールドに既存の製品バリエーションをリンクすることも選択できます。

製品バリエーションは次のように構成または選択できます。

[デフォルト供給 ソース]	販売オーダー/見積の 品目	PCF パラメータで 構成	製品バリエーションの 構成	製品バリエーションを 選択するセッション
[ジョブショップ]	一般	適用なし	製品コンフィギュ レータ (tipcf5120m000)	製品バリエーション (tipcf5501m000)
[組立]	一般	オン	製品コンフィギュ レータ (tipcf5120m000)	製品バリエーション - 在庫 (組立) (tiapl3600m000)
[組立]	一般	オフ	適用なし	製品バリエーション - 在庫 (組立) (tiapl3600m000)
[組立]	製造	オン	製品コンフィギュ レータ (tipcf5120m000)	製品バリエーション - 在庫 (組立) (tiapl3600m000)
[組立]	製造	オフ	適用なし	製品バリエーション - 在庫 (組立) (tiapl3600m000)

注意

LN が Product Configuration Management コンフィギュレータに統合される場合、製品バリエーションは、製品コンフィギュレータ (tipcf5120m000) セッションではなく、CPQ コンフィギュレータで構成されます。詳細は、次の情報を参照してください: CPQ コンフィギュレータの設定

製品バリエーションの再使用

同じ販売オーダーまたは見積の異なる販売オーダー/見積ラインは、特定の製品バリエーションを複数回使用できます。

この機能は、以下の設定が適用される場合にのみ使用できます。

- 製品構成パラメータ (tipcf0100m000) セッションの [品目コードを識別] チェックボックスがオンになっている
- 販売オーダー (プロジェクト PCS) 構造の生成 (tdsls4244m000) セッションで構成した品目のプロジェクト構造を生成するときに [販売オーダー番号と同一のプロジェクト番号] チェックボックスがオンになっている
- 製品構成パラメータ (tipcf0100m000) セッションの [構成の再使用を許可] チェックボックスがオンになっている

例

一般品目	特徴	オプション
100: 席 X	色	1: 赤
		2: 青
	高さ	1: A
		2: B

構成が保存された後の販売オーダー/見積

オーダー	位置	品目	記述	バリエーション	選択されたオプション
123	5	テキスト	クラスルーム 1a	-	-
	10	100	席 X	10	色 赤、高さ A
	15	100	席 X	11	色 赤、高さ B
	20	テキスト	クラスルーム 1b	-	-
	25	100	席 X	10	色 赤、高さ A
	30	100	席 X	11	色 赤、高さ B

販売オーダー (プロジェクト PCS) 構造の生成 (tdsls4244m000) セッションでプロジェクト構造が生成された後の販売オーダー/見積

オーダー	位置	品目	記述	バリエーション	選択されたオプション
	5	テキスト	クラスルーム 1a	-	-
123	10	100-1-A	席 X、色 赤、高さ A	10	色 赤、高さ A
	15	100-1-B	席 X、色 赤、高さ B	11	色 赤、高さ B
	20	テキスト	クラスルーム 1b	-	-
	25	100-1-A	席 X、色 赤、高さ A	10	色 赤、高さ A
	30	100-1-B	席 X、色 赤、高さ B	11	色 赤、高さ B

上記の例で適用されたチェック

- オーダライン 15 が構成された後に、同じ品目がライン 10 で検出されます。位置 10 (123/100-1-A) の新しい品目コードとライン 15 (123/100-1-B) の品目コードは異なります。そのため、オーダライン 15 は承認されます。
- オーダライン 25 が構成された後に、同じオプションの同じ品目がライン 10 で検出されます。位置 10 の新しい品目コードとライン 25 の品目コードは同じで、123/100-1-A です。[構成の再使用を許可] チェックボックスがオンの場合のみオーダライン 25 が承認されます。

位置 10 と 25 の品目コードは同じです。品目 (tcibd0501m000) セッションで、品目 123/100-1-A の [製品バリエーション] は 10 になっています。

重要

一般品目 - データ生成の設定 (tipcf3101m000) セッションは予測結果に影響します。

- この例では、このセッションの設定が使用されています。選択されたオプションは生成された品目コードの一部になっています。別のオプションを選択する場合、異なるカスタマイズ品目コードが生成されます。
- 一般品目 - データ生成の設定 (tipcf3101m000) セッションでデータ生成の設定が指定されていない場合、カスタマイズ品目コードはオーダ番号 - 品目コードに基づいており、123-100 となります。この場合、位置 15 にエラーメッセージが表示されます。カスタマイズ品目コードは位置 10 と同じですが、オプションは異なります。

販売オーダーラインおよび販売見積ラインの更新

既存の製品バリエーションを販売オーダー/見積ラインに挿入すると、販売オーダー/見積ラインで次のフィールドが更新されます。

[有効化コード]	[デフォルト供給ソース] が [組立] に設定され、組立計画 (APL) で製品バリエーションにリンクされた有効化コードを持つ品目の場合
[倉庫]	[デフォルト供給ソース] が [組立] に設定されている [製造] 品目の場合のみ
[ワークセンタ]	[デフォルト供給ソース] が [組立] に設定されている [一般] 品目の場合のみ
[販売価格]	-
[シリアル番号]	リンクされた組立オーダーが連続する場合に更新されます。この番号がないと、販売オーダーを倉庫管理に発行できません。
[標準原価]	次のいずれかの作業を行うと更新されます。 ■ 製品バリエーション (組立) (tiapl3500m000) セッションで、[計算] をクリックします。 ■ 組立オーダーを維持します。

注意

[デフォルト供給ソース] が [組立] に設定された [製造] 品目で、組立計画パラメータ (tiapl0500m000) セッションの [同一構成の多重販売] チェックボックスがオンになっている場合、複数の組立オーダーを 1 つの販売オーダーラインにリンクすることができます。これは販売オーダーラインをシリアル番号で更新できないことを意味します。そのため、倉庫管理によりロットとシリアルセットにシリアル番号が入力されます。これを表示するには販売オーダー実際納入ライン (tdsls4106m000) セッションで [ロットとシリアルセット] ボタンをクリックします。このセットを使用して、複数のシリアル番号が納入ラインにリンクされます。

製品バリエーションの更新

販売オーダー/見積ラインで [計画済納期] または [オーダー日付] / [見積日付] を変更すると、リンクされた製品バリエーションで次のフィールドが更新されます。

販売オーダー/見積ラインの変更されるフィールド	製品バリエーションの更新されるフィールド	更新の制限事項
-------------------------	----------------------	---------

[計画済納期]	[要求オフライン日]	なし
[計画済納期]	[計画オフライン日]	■ 製品バリエーションの状況が [オープン] である ■ 組立オーダが存在しません。
[計画済納期]	[製品構成日]	■ 製品バリエーションの状況が [オープン] である ■ 組立オーダが存在しません。 ■ 販売パラメータ (tdsls0100s000) セッションで [構成日 (PCS)] が [納期] に設定されている ■ 製品バリエーションが製品構成によって構成されていない
[オーダ日付] / [見積日付]	[製品構成日]	■ 製品バリエーションの状況が [オープン] である ■ 組立オーダが存在しません。 ■ 販売パラメータ (tdsls0100s000) セッションで [構成日 (PCS)] が [オーダ日付] に設定されている ■ 製品バリエーションが製品構成によって構成されていない

注意

[デフォルト供給ソース] [組立] に設定されている [製造] 品目で、組立計画パラメータ (tiapl0500m000) セッションの [同一構成の多重販売] チェックボックスがオンになっている場合、複数の組立オーダを 1 つの販売オーダラインにリンクすることができます。そのため、販売オーダラインに複数の計画納期を適用できます。その結果、日付の変更は製品バリエーションに更新できません。

製品バリエーションのリンクの解除

販売オーダ/見積ラインでは、製品バリエーションのリンクを解除できます。

リンクを解除しても製品バリエーションは削除されず、製品バリエーション上および組立オーダ上 (該当する場合) の販売オーダまたは見積への参照のみが削除されます。製品バリエーション (組立) (tiapl3500m000) セッションと製品バリエーション (tipcf5501m000) セッションでは、[参照タイプ] が、[販売オーダ]、[販売見積]、または [標準バリエーション] のままになります。

リンクが解除された製品バリエーションは、別の販売オーダ/見積で再使用できます。

注意

[デフォルト供給ソース] が [組立] に設定されている品目には、次の内容が適用されます。

- 組立計画パラメータ (tiapl0100s000) セッションの [売残り製品バリエーションの組立オーダーを使用] チェックボックスにより、製品バリエーションのリンクをいつ解除可能かが決まります。
- [製造] 品目が倉庫検査時に不合格になった場合、製品バリエーションの状況が [取消済] になります。その後、リンクされている販売オーダーラインを取り消したり、販売オーダーラインから製品バリエーションを削除したりすることができます。必要な場合は、別の製品バリエーションをリンクできます。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

有効在庫

ある品目の、ある日付に顧客に確約できる数量

LN では、有効在庫 (ATP) は、確約可能在庫 (CTP) と呼ばれる、より高度なオーダ確約技術の構成要素となっています。確約可能在庫は、品目の有効在庫が不十分な場合に当初計画より増産する可能性も考慮する点で、有効在庫より高度な機能を備えています。

標準的な有効在庫機能のほかに、チャンネル有効在庫も使用されます。この用語は、特定の販売チャンネルについて販売制約を考慮した、そのチャンネルについての品目の調達可能性を指しています。

LN で使用されるこれ以外のすべてのタイプのオーダ確約機能については、確約可能在庫という用語を使用します。

頭字語: 有効在庫

略字: 有効在庫

有効在庫

次を参照してください: 有効在庫 (ページ 19)

有効在庫

次を参照してください: 有効在庫 (ページ 19)

確約可能在庫

特定の日付で顧客に確約できる品目の数量を決定するために使用する技術の組合せ

確約可能在庫 (CTP) は、標準的な有効在庫 (ATP) の拡張機能を持っています。確約可能在庫は、品目の有効在庫が不十分な場合に当初計画より増産する可能性も考慮する点で、有効在庫より高度な機能を備えています。

標準的な有効在庫機能のほかに、確約可能在庫には次の機能があります。

- チャンネル有効在庫: ある販売チャネルでの制約された調達可能性
- 製品ファミリ確約可能在庫: 品目レベルではなく製品ファミリレベルでの調達可能性に基づいた確約可能オーダー
- 構成確約可能在庫: ある品目の追加生産に使用できる構成要素が十分にあるかどうかをチェックします。
- 確約可能在庫能力: ある品目の追加生産に使用できる生産能力が十分にあるかどうかをチェックします。

略字: 確約可能在庫

確約可能在庫

次を参照してください: 確約可能在庫 (ページ 20)

仕様

たとえば品目が割り当てられている取引先や所有権の詳細など、品目関連データの集まり

仕様を使用して、供給と需要を突き合せます。

仕様は、次の 1 つまたは複数に属することができます。

- 販売オーダーや製造オーダーなど、品目の数量に対する供給予定
- 扱い単位に収容される品目の特定の数量
- 販売オーダーなど、品目の特定の数量に対する要件

一般品目

複数の製品バリエーションに存在する品目。一般品目に対して製造活動を実行する前に、品目を設定して、必要な製品バリエーションを決定する必要があります。

例

一般品目: 電気ドリル

オプション:

- 3つの電源 (バッテリー、12 V または 220 V)
- 2色 (青、グレー)

合計 6 つの製品バリエーションをこれらのオプションで製造できます。

部品表

親組立に組み込まれるすべての部分組立品、中間品、部品、原材料のリスト。この表には、各構成要素の数量および原価がリストされます。

同義語: BOM

販売見積

発注先が見込購買者に提案した商品またはサービスの価格計算書、販売条件、記述、入札。顧客データ、支払条件および受渡条件はヘッダに含まれます。実際の品目についてのデータは見積ラインに入力されます。見積依頼への回答として与えられる場合、入札は通常、販売申込とみなされます。

カタログ

分類構造の最高レベル。カタログには 1 つまたは複数の分類が含まれ、各分類には品目または小分類が含まれます。カタログを別の分類のメンバーにすることはできません。

製品バリエーション

構成可能品目の一意の構成。バリエーションは構成処理に由来し、特徴オプション、構成要素、作業などの情報を含みます。

例

構成可能品目: 電気ドリル

オプション:

- 3 つの電源 (電池、12 V または 220 V)
- 2 色 (青、灰)

これらのオプションから合計 6 つの製品バリエーションが生じます。

資材価格

資材の価格。以下場合があります。

- 資材基準価格 (資材実際価格が (まだ) 適用されない場合)
- 次の構成要素の合計: 資材基準価格 + 資材価格付加費用 + 資材価格付加費用原価 (資材実際価格が適用される場合)

組立オーダー

1 つ以上の組立ラインで製品を組み立てるためのオーダー

構成可能品目

特徴およびオプションを選択できる品目であり、この品目に対するすべての活動を実行できるように事前に構成しておく必要があります。構成可能品目が一般品目の場合は、構成後に新しい品目が作成されます。製造品目または購買品目の場合は、品目コードとオプションリスト ID で構成が識別されます。

- デフォルト供給ソースが [組立] 品目および [一般] 品目に設定されている [製造] 品目は、常に構成可能品目になります。
- 購買スケジュールが使用中の [購買] 品目は、場合によっては構成可能品目になることもあります。
- 構成可能 [購買] 品目は、組立管理でのみ使用できます。

ペグ

プロジェクトと予算、要素と活動の組合せ。プロジェクトの原価、需要、供給の識別に使用されます。

デフォルト供給ソース

デフォルトで品目を供給するソース。品目は、購買オーダーまたはスケジュール、製造オーダーまたはスケジュール、組立オーダー、または倉庫オーダーを使用して供給できます。

デフォルト供給ソースにより、どのタイプのオーダーを使用して品目を供給するかが決まりますが、一般的にはこのデフォルトに代えて、別のソースを指定できます。

品目タイプが [製造] または [一般] の場合は、供給ソースを [ジョブショップ] または [組立] にすることができます。

品目タイプが [設計モジュール] の場合、供給ソースは、[組立] になり、変更できません。

品目タイプが [購買] の場合、供給ソースは、[購買] になり、変更できません。

ロットおよびシリアルセット

販売オーダーライン上の品目の、ロットコードおよび/またはシリアル番号のリスト。ロットおよびシリアルセットは、請求または販売後サービスで使用できます。

見積依頼 (RFQ)

(いくつかの) 製品の納入について、入札者に条件 (価格、値引、納入時間、および支払条件など) の提出を要求するために使用する購買伝票

見積依頼は複数の入札者に送付することができます。入札者は、指定品目の見積依頼回答を提出できます。

回答の記録、交渉、およびさまざまな入札者から提示された価格と値引の比較を行うことができます。

受け入れられた回答は、契約、オーダー、価格帳にコピーできます。

競合先

同じ販売オーダーに対する競合会社。一般に、競合先は同じマーケットセグメントで営業活動を行います。

成功率

見積に関連付けられる割合で、取引先が見積を受け入れる可能性を表します。見積が受け入れられると、見積は販売オーダーに変換されます。

部分組立品

デフォルト供給ソース [組立] を含む品目。部分組立品の製造は、組立オーダーで管理されます。組立オーダーは組立ラインで実行されます。

注意

組立の品目タイプは、[一般]、[製造]、または [設計モジュール] にすることができます。

CPQ コンフィギュレータ

LNに統合されて品目を構成するアプリケーションです。この統合は、Web ユーザインタフェースの一部としてのみ実行できます。

次を参照してください: 価格見積の構成

BOM

次を参照してください: 部品表 (ページ 21)

索引

適切なメニュー, 19
有効在庫, 19
確約可能在庫, 20
仕様, 20
一般品目, 20
部品表, 21
販売見積, 21
 オプション処理, 11
 マスターデータ, 7
カタログ, 21
製品バリエーション, 21
 販売, 12
資材価格, 21
組立オーダー, 21
構成可能品目, 22
ペグ, 22
デフォルト供給ソース, 22
ロットおよびシリアルセット, 22
見積依頼 (RFQ), 22
競合先, 22
成功率, 23
部分組立品, 23
CPQ コンフィギュレータ, 23
BOM, 21
